

上小岩第二小学校応援団実践報告書

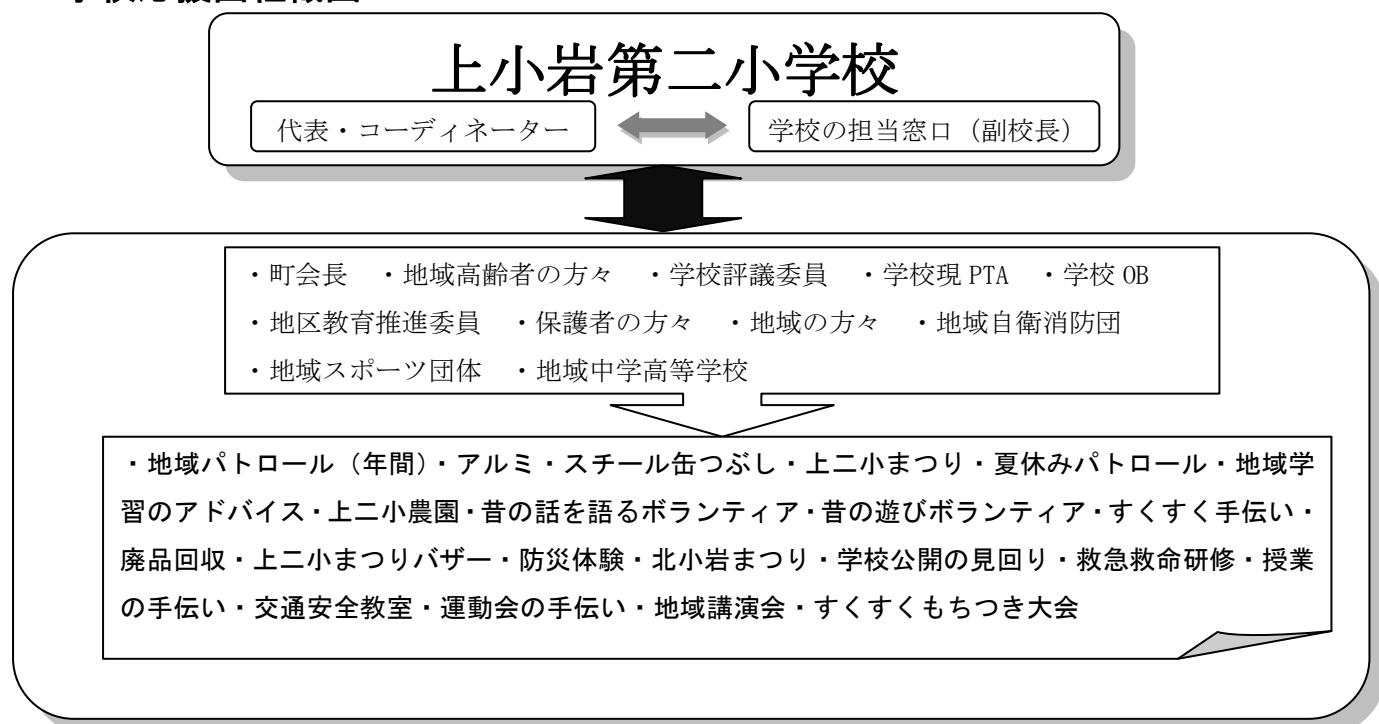
1 校長及び代表者氏名

学校長 上小岩第二小学校長 竹田 行毅
代表 学校応援団 代表 渡邊 哲也

2 今年度の活動内容

応援団の種類	応援団の名称	活動内容
安全・安心	・地域パトロール（年間） ・夏休みパトロール ・防災体験 ・学校公開の見回り ・救急救命研修 ・交通安全教室	年間を通しての夕方の地域パトロール 夏季休業中の夜間パトロール 起震車や煙ハウスの体験時のお手伝い 学校公開時の不審者対応のための校内巡視 自衛消防団による職員対象の救急救命研修 区・警察の交通安全教室のお手伝い
学習活動	・地域学習のアドバイス ・上二小農園 ・授業の手伝い ・昔遊びボランティア	中学年地域学習の講師や作業等のお手伝い 上二小農園の管理と収穫、農作業の支援 授業の支援、教材準備等の支援 本の読み聞かせ 生活科授業のお手伝い
環境・エコ	・アルミ・スチール缶つぶし ・上二小まつり ・廃品回収 ・美化活動	家庭からでたアルミ・スチール缶をつぶす活動 PTA 模擬店におけるごみの分別啓発活動 家庭の廃品を回収する活動 学校敷地内の清掃活動

3 学校応援団組織図



4 今年度の成果と今後の課題

<成果>

児童にかかわるいろいろな支援を学校応援団という形で組織だて行うようにしてきた。いままでPTA、地域、ボランティア、外部関係諸機関と様々な組織を通して行ってきたものを、ひとつ大きく括ってまとめたもので、学校と地域とのかかわりが大きくなってきている。

また、予算をいただいたことでボランティアとしてお願いしていた活動を依頼しやすくなった。本校では、教育パートナーとして、低学年の授業支援に人員を配置していたが、それがなくなったあと、ボランティアとして、支援して下さる方に学校応援団をお願いしたので、予算処置はありがたく、その方による支援は大いに成果があった。

<課題>

コーディネーターをはじめPTAの方々に、特に一般の保護者の方たちには実際に活動している内容は従来とほとんど変わらないので、「学校応援団」として活動しているという意識はほとんどなく、学校応援団の活動をしていると気づいていないひとも多いと思われる。従来とどう違うのかさらなる啓発していくことが必要である。

また、学校に直接かかわっていない人の中にも支援のできる方がいると思われるが、そのような人を発掘することも課題である。学校からのさらなる情報発信、情報収集の力を高めていくことが必要である。

5 代表より

日頃より先生方、保護者の皆様、地域の皆様のご協力により、子どもたちにたくさんのご支援をしていただきましたことを心より御礼申し上げます。

今年度の活動として、安全で安心した環境を目的に、子どもたちが日頃から通う学校の美化活動を12月に企画しました。応援団に保護者の皆様に募り、学校でPTA役員が待機していたところ、突然の雨。これでは保護者の皆様に風邪などひかれては困ると判断し急きよ、当日の実施は断念しました。断念した役員で茶話会をしていたところに明るい日差しが見えてきたため、砂場あたりの側溝を、用意していただいたスコップと一輪車で掃除をしました。これが結構きつい作業でした。収益には繋がらない活動でしたが唯一、側溝から見つけた幼虫を土に返し、上二小に通う子どもたちと同様に成長を願う私たちでした。

次年度も学校応援団の活動を通して、子どもたちの成長を見守り豊かな学校生活を過ごしてもらえよう一同力を合わせて頑張っていきたいと思います。皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

6 学校長より

本校の学校応援団活動は、日頃より学校行事全般についてきめ細やかに子どもたちの安心安全と健やかな成長のために活動していただきました。特に毎週火曜日のリサイクル活動、子どもたちの楽しい学校生活のための本部や委員会、学年のPTA活動があります。おかげさまで子どもたちののびのびとした楽しい学校生活につながっています。今後も読書科に伴う活動も予想され、連携を密にして取り組んでいきたいと思っております。